

山内議員

既存体育館について

問 新体育館の建設に向けた計画が進められているが、国体開催後、既存体育館の在り方をどのように考えているか。少子高齢化、人口減少が叫ばれる当市で、維持管理費の増大は避けるべき課題と考える。所見を伺う。

答 国体終了後における新体育館及びその他の既存の体育施設の使用形態及び利用頻度等、利用見通しを十分研究させていただきたい。そして勝山市内の体育館がもつとも合理的かつ効率的に活用されるようなあり方を目指していきたい。その目途であるが、まずは新しい体育館の内容、機能が確定する基本設計の完了を踏まえなければならぬと思うっており、市としての考え方を平成25年度中にお示しできるような目標をもって臨んでいきたい。

再生可能エネルギーによる発電について

問 原子力発電は長期的に見て淘汰されると思われる。太陽光、風力、小水力など、再生可能エネルギーがクローズアップされているが、

太陽光発電は積雪のある北陸地方では非常に不利である。設置補助金を増額するか、LED化など節電に補助をすることができないか伺う。

答 節電・省エネ方策として、市では住宅リフォーム促進事業を実施している。また、環境家計簿等を実施した。市役所においてもライトダウンデーを設け、積極的に節電に取り組んでいく。再生可能エネルギーについては、住宅用太陽光発電設備の助成を継続し普及を図る。積雪地帯の独自施策については、自然エネルギーによる発電の促進等が国策としても重要性を増している中で、国に政策誘導を求めていく中で検討を深めていく。



トピックス

議会の録画映像のインターネット公開について

議会では、市民に開かれた議会を実現するため、本会議（市長招集あいさつ、代表・一般質問）の様相をインターネットで公開しております。録画映像は市のホームページからアクセスしてご覧いただけます。

※録画映像は本会議後、約2週間以内に配信します。

※配信する内容は、勝山市議会の公式記録ではありません。

公式記録は勝山市議会会議録をご参照下さい。

※アドレス <http://www.youtube.com/user/18katsugi/videos>

予算委員会設置について

議会では、議案を委員会に付託して審査しています。議会改革の一環として今議会から予算委員会を全議員による常任委員会として設置しました。これまで、議員が複数の常任委員会に所属できないという地方自治法の制約があったことから、その都度特別委員会（全員審査特別委員会）を設置して一般会計予算を審査してきましたが、平成18年の法改正を受け、この委員会の設置に至りました。

市政推進の根幹を成す重要な案件である一般会計予算の審査を、特別委員会ではなく常任委員会で行うとともに、市民にわかりやすい議会運営となるようにしたものです。

審査の状況の一部をクローズアップして2ページ、3ページにも記載してありますのでご覧ください。